	ベリング 微生物学	ング 授業科目名(科目の英文名) 区分 微生物学				【新主題】/(分野)										
	(Microbiology)															
必修選	講義 2	議 美 ?						担当形態								
必修	実習 1 2	実習 1 2 2 必修 日本語						複数	((±	共同)	1)					
担当教員	氏名 伊波, 君付(微生	物学),西園,三室,河	J本, 三好(グローカル感染症研	「究センター),八尋(先		学科	計)									
叙 員	E-mail hiha@e	oita-u.ac.jp	内線 5712	,												
	世界最高水準の公衆領	衛生環境、食生活や生活	習慣の改善、そして国民皆保険制	度に基づく医療サービス												
業			も、高齢者や免疫的に脆弱な人々 ウイルス感染症、エボラ出血熱、													
概	依然として人類に対する	るグローバルな脅威である	る。本コースでは、病原性細菌	・ウイルスの生物学的特性	生と、そ	れら	が引	目き走	退こ	す感染	杂病態、					
			いて学ぶ。さらに、滅菌・消毒・ 要な知識と技術を、講義および		jの基本	原埋	を埋	蝉し	/、怎	以 染症	医療の					
	到達目標		37,711,07 = 32,117 = 1, 11, 124 : -1 = 2	110111111111111111111111111111111111111	DP 等											
					の対応 (別表参	1	2	3	4	5	6 7					
目標 1	原核生物としての細菌の	 D構造と機能を真核細胞	 と比較して理解している		照)	0					_					
	病原細菌の感染経路を分類し、それらが疾病を引き起こす機序について理解している															
目標 3			の作用機序について理解してい 菌学的特徴、リスク因子、感染:		わらが	0	\dashv	-	-	\dashv	+					
目標 4	王なりノム陽住/层住、 引き起こす疾患を列挙で		困子的付は、リヘク囚1、 念来:	柱路と州忠を説明し、そ	10011	\circ										
目標 5	らせん状細菌、マイコスできる	プラズマ、リケッチア、	クラミジアの微生物学的特徴と	それらが引き起こす疾患	を列挙	\bigcirc										
	ウイルスの基本構造とグ		によりウイルスを分類できる			0					工					
目標7	ウイルス感受性の種・糸 答について概説できる	fl織特異性とウイルス増殖	殖のライフサイクル、感染によ	る細胞の変化および宿主	免疫応	\bigcirc										
	主た DNA ウイルス RNA ウイルスの特徴 リスク因子 感染経路と病態を説明し、これらが引き起こす症 (
		基本的予防措置、ワクチ	ンの原理・種類と問題点、抗菌	薬、抗ウイルス薬の作用	機序に	\bigcirc				\top	\top					
目標 10	人獣共涌感染症・媒介重		微生物について、その生活史・	リスク因子・感染経路と	病態・	\circ				\dagger	+					
## A ±		各DP~	の関連度(計10)			10				\Box	工					
授業の内 1	日谷 一微生物学イントロ	微生物学イントロ			伊波						講義					
2	細菌学総論 1-6		・生理,代謝と遺伝学		三室						講義					
3	細菌学総論 7-9 細菌学総論 10-12	感染論(病原細菌の別 新興・再興感染症	病原性)		西園 西園						講義					
5	細菌子総論 10-12 細菌学各論 1-6		-4,嫌気性菌,抗酸菌感染症		三好						講義講義					
6	細菌学実習 1-3	グラム染色・観察(基本編)		伊波・ノ	(尋・					実習					
7	細菌学実習 4-9	全実習 4-9 病原細菌の観察と生化学性状 伊波・八尋・君付・三室・三好 実						実習								
8			化子性状			_				· 17	ক্ষেত্র হাহা					
9	細菌学実習 10-12	臨床細菌学			伊波・万	(尋・	君作			<u>.</u> 好	実習講義					
9	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10		抗菌薬・耐性菌			\尋 · 伊波	君作			好	実習 講義					
10 11	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態		伊波・/ 西園・1 伊波・ 伊波・	\尋· 伊波 可本	君作			E好	講義講義講義					
10 11 12	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6 ウイルス学総論 7-9	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療		伊波・/ 西園・1 伊波・ 伊波・ 伊波・ 伊波・	母· 伊波 河本 河本	・君作	∱• <u>≡</u> ;	室•三		講義講義講義					
10 11	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予ト インフルエンザ HA 詞	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 【験		伊波・/ 西園・1 伊波・i 伊波・i 伊波・ 伊波・ 伊波・	學 伊波 河本 可本 君付	・君作・八	、尋・	室・三河オ	ķ.	講講講講					
10 11 12 13	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8	臨床細菌学生物製剤・ワクチン、ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性とクライルス感染症の予トインフルエンザ HA 記インフルエンザ HI 記	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 ば験		伊波・「 西波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 アー・ファイ アー・ファイル アー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィ	导波 河本 君付 君付	・君 ・八 ・八	· 專 ·	室·三 河本 河本	k k	講講講講実実実					
10 11 12 13 14	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8	臨床細菌学生物製剤・ワクチン、ウイルスの構造・分類ウイルスの病原性とクウイルス感染症の予トインフルエンザ HA 記インフルエンザ HI 記ウイルスゲノム検出レトロウイルス感染料	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 、験 に験 症 (HIV/AID, HTLV-1 関連疾患), 肝炎ウイルス, パピ	伊波・「 西波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 アー・ファイ アー・ファイル アー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィ	导波 河本 君付 君付	・君 ・八 ・八	· 專 ·	室·三 河本 河本	k k	講講講講実習					
10 11 12 13 14 15	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 1-6	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予ト インフルエンザ HA 記 インフルエンザ HI 記 ウイルスゲノム検出 レトロウイルス感染料 ローマウイルス, DNA RNA ウイルス	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 、験 、 は験 症(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス	.), 肝炎ウイルス, パピ	伊波・「 西波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 伊波・河東 アー・ファイ アー・ファイル アー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィ	导波 河本 君付 君付	・君 ・八 ・八	· 專 ·	室·三 河本 河本	k k	講講講講実実講講義義義義習習習養					
10 11 12 13 14 15 16 17	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 7-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 7	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予 インフルエンザ HA 討 インフルエンザ HI 討 ウイルスゲノム検出 レトロウイルス感染料 ローマウイルス, DNA RNA ウイルス, -RNA	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 ば験 症 (HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス		伊西伊伊伊伊伊伊 西河 河 本 の	專 一	・ ・ バ ・ バ	- 三	室·三 河才 河才 河才	k k	講講講選実実講講講					
10 11 12 13 14 15 16 17 18	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 7-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予ト インフルエンザ HA 討 インフルエンザ HI 討 ウイルスゲノム検出 レトロウイルス感染料 ローマウイルス, DNA RNA ウイルス 実習を通して病原微	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 は験 症(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス ウイルス	yに 必要な場合には、	伊西伊伊伊伊伊伊 西河 適本 直河 適本 直へ	尋波本本 付付付 イン	· 君作 ・ 八 ・ 八 ・ 八	毒 毒・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	室·三河河河河	装な	講講講講実実講講講うの義義義義習習習著義義義義					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:知 B:意	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 7-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 7	臨床細菌学生物製剤・ワクチン,ウイルスの構造・分類ウイルスの病原性とクウイルス感染症の予トインフルエンザ HA 記サインフルエンザ HI 記サイルスゲノム検出レトロウイルス感染料ローマウイルス,DNA RNA ウイルス・RNA ウイルス・カース・RNA ウイルス・カース・アのよりの、実習を通して病原微め、実習中には頻回にく	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 、験 に験 症(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組み と臨床における意義を体得させる Q&A を投げかけ (タイプ B 意見	タに 必要な場合には、 3 た ウェアラブルカ 見の ウ取り扱いの実際	伊西伊伊伊伊伊伊伊 西河 適メ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(尋波) 本本 付付付付 イフガ	· 君作 ・ 八 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 ·	す・三、 尋・尋・ ・ド₹を用	室・三河河河河湖北海道	義・病原	講講講実実講講講うう微生					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:知 B:意	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 1-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認	臨床細菌学生物製剤・ワクチン,ウイルスの構造・分類ウイルスの病原性とクウイルス感染症の予トインフルエンザ HA 記サインフルエンザ HI 記サイルスゲノム検出レトロウイルス感染料ローマウイルス,DNA RNA ウイルス・RNA ウイルス・電子を通して病原微り、実習を通して病原微め、実習中には頻回にく表現・交換)、臨床検体を	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 は験 症(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組み 実臨床における意義を体得させる Q&A を投げかけ (タイプ B 意見 を用いた症例提示を実習内容に !	タに 必要な場合には、 3 た ウェアラブルカ 見の ウ取り扱いの実際 リン そ	伊西伊伊伊伊伊伊伊 西河 適メ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(尋波) 本本 付付付付 イフガ	· 君作 ・ 八 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 ·	す・三、 尋・尋・ ・ド₹を用	室・三河河河河湖北海道	義・病原	講講講実実講講講うう微生					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:知 B:意	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 1-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認	臨床細菌学生物製剤・ワクチン,ウイルスの構造・分類ウイルスの病原性とクウイルス感染症の予トインフルエンザ HA 記ウイルスゲノム検出レトロウイルス感染がローマウイルス,DNA RNA ウイルス・RNA ウイルス・電子を通して病原微り、実習中には頻回にくあり、実習やしている。さらにメディーをある。さらにメディーを表現・交換)、臨床検体をクさせる。さらにメディーを表現・交換)、このにメディーを表現・交換)、このにメディーを表現・交換)、このにメディーを表現・である。さらにメディーを表現・である。このにメディーを表現・である。このにメディーを表現を表現・である。このによりである。この情報である。このには、この情報である。このには、この情報である。このによりないる。このによりないる。この情報である。このによりないる。この情報である。この情報では、この情報である。この情報である。この情報である。この情報である。この情報である。この情報である。この情報である。この情報では、この情報では、この情報である。この情報である。この情報では、この情報では、この情報では、この情報である。この情報では、こればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 は験 症(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組み 実臨床における意義を体得させる Q&A を投げかけ(タイプ B 意見 を用いた症例提示を実習内容に!	タに 必要な場合には、 3 た ウェアラブルカ 見の ウ取り扱いの実際 リン そ 官の 他	伊西伊伊伊伊伊伊伊 西河 適メ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(尋波) 本本 付付付付 イフガ	· 君作 ・ 八 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 ·	す・三、 尋・尋・ ・ド₹を用	室・三河河河河湖北海道	義・病原	講講講実実講講講うう微生					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:矢 B:意 C:広 ラアーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ	細菌学実習 10-12 細菌学各論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 1-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予ドインフルエンザ HA 記 ウイルスがノム検出 レトロウイルス感染症ローマウイルス, DNA RNA ウイルス 実習を通して病原微 め、実習中には頻伸に(を現・交換)、たらにメデー を見させる。さにメデー のにはいる(タイプ	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 は験 症(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組み 実臨床における意義を体得させる Q&A を投げかけ (タイプ B 意見 を用いた症例提示を実習内容に !	タに 必要な場合には、 うた ウェアラブルカ / う取り扱いの実際 リン その 臣の 他 3 よ の	伊西伊伊伊伊伊伊伊 西河 適メ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(尋波) 本本 付付付付 イフガ	· 君作 ・ 八 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 ·	す・三、 尋・尋・ ・ド₹を用	室・三河河河河湖北海道	義・病原	講講講実実講講講うう微生					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:矢 B:意 C:広 ラアーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ	細菌学実習 10-12 細菌学客論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 7-0 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認 意見の表現・交換	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予ドインフルエンザ HA 記 ウイルスが J ム検出 レトロウイルス感染。 RNA ウイルス 実習を通して病原微等 め、実習中には頻伸に の、実習中には頻伸に が、まのによるに といる。 発生や流行に関するイプ 用・創造)。	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 環に(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組み 実臨床における意義を体得させる Q&A を投げかけ(タイプ B 意見 を用いた症例提示を実習内容に見 イアなどを利用し、新たな感染 内、世界での動向を常に注視する A 知識の定着・確認, D 知識の	タに 必要な場合には、 ウェアラブルカ ウ取り扱いの実際 する。 さるよう のの るよう のの のこま ののこま	伊西伊伊伊伊伊伊伊 西河 適メ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(尋波) 本本 付付付付 イフガ	· 君作 ・ 八 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 · 八 ·	す・三、 尋・尋・ ・ド₹を用	室・三河河河河湖北海道	義・病原	講講講実実講講講うう微生					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:矢 B:意 C:広 ラアーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ	細菌学実習 10-12 細菌学表論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 4-6 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学実習 7-8 ウイルス学各論 7-0 ウイルス学各論 7-0 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認 意見の表現・交換 5用志向	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分類 ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予ドインフルエンザ HA 記 ウイルスが HI 記 ウイルスゲノム検出 レトロウイルス, DNA RNA ウイルス 実習を通して理解やり あ現・交換)、さら関するイン発生や流行ける(タイプ 発生や流行ける(タイプ用・創造)。 重要事項は本人の記述に 形式の講義資料を配付す	抗菌薬・耐性菌質・遺伝生態 防・診断・治療 験 し験 を使(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組みを関係における意義を体得させる と関いた症例提示を実習内容に見るといるとを利用し、新たな感染が、世界での動向を常に注視する人知識の定着・確認, D 知識のにより確認するよう、空欄書き返する(タイプA 知識の定着・確言	タに 必要な場合には、 ウェアラブルカ ウ取り扱いの実際 すの他の るよ のに るよ のに るよ のた るよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなるよ のなる。	伊西伊伊伊伊伊伊 西河 適ラ、波園波波波波波波波 園本 宜、患・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	専一選手	・ 君 ・ 八 ・ 八 ・ 八 ・ 八 ・ 次 な が な が な が を が を が を が を が を が を が を が	尋尋尋・ ドグランド 大き	室・三河河河河湖北海道	義・病原	講講講実実講講講うう微生					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:矢 B:意 C:広 ラアーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ	細菌学実習 10-12 細菌学客論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学客論 1-6 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 7 ウイルス学各論 8-11 職の定着・確認 意見の表現・交換 5用志向 準備 指定教科書(臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分別 ウイルスの病原性と ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予 インフルエンザ HI AI ウイルスクイルス, DNA RNA ウイルス, -RNA 実習を充りに臨らは まで、実変換り、さら関する が、実変換のでは、といる が、までなる。行には が、までなる。行は が、までないでする。 が、まです。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、までする。 が、まです。 が、すです。 が、すで、 が、すで、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	抗菌薬・耐性菌 類・遺伝 生態 防・診断・治療 環験 環験 定 (HIV/AID, HTLV-1 関連疾患 ウイルス 生物による感染と発病の仕組み とないよる感染と発病の仕組み とないないけ(タイプ B 意見 を用いた症例提示を実習内容によるが、世界での動向を常に注視する。 人、世界での動向を常に注視する。 A 知識の定着・確認, D 知識の により確認するよう、空欄書きよ する(タイプ A 知識の定着・確言 、計 12h)。実習に関する予	みに 3 た ウェアラブルカ ウ取り扱いの実際 さの他 3 よ さのの 5 よ 2 の 5 よ 2 の 2 の 3 よ 3 よ 3 と 3 と 3 と 3 と 3 と 3 と 3 と 3 と	伊西伊伊伊伊伊伊 西河 適 ラ 、	尋波本本 付付付 イ イ 一 イ 一 イ 一 イ 一 一	・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・ 八八 ・ 八八 ・ 八八	尋 尋 尋 ・ ド	室・河河河河型講話を	なななもればない。	講講講演実実講講講うの生物の					
10 11 12 13 14 15 16 17 18 A:知 B:意 C:パ ラアクニティ グプ D:矢	細菌学実習 10-12 細菌学客論 7-10 ウイルス学総論 1-3 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学総論 7-9 ウイルス学実習 1-3 ウイルス学実習 4-6 ウイルス学客論 1-6 ウイルス学各論 7-0 ウイルス学各論 8-11 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	臨床細菌学 生物製剤・ワクチン, ウイルスの構造・分別 ウイルスの病原性と ウイルスの病原性と ウイルス感染症の予問 インフルエンザ HI AI ウイルス・ファインファンが、 ローマウイルス・DNA RNA ウイルス・RNA 実習を通して理解になり、 きで、表現・交を、行にはこれで、 が、まのでは、 を力にはいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、ないではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのではいる。 が、まのでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	抗菌薬・耐性菌質・遺伝生態 防・診断・治療 験 し験 を使(HIV/AID, HTLV-1 関連疾患ウイルス ウイルス 生物による感染と発病の仕組みを関係における意義を体得させる と関いた症例提示を実習内容に見るといるとを利用し、新たな感染が、世界での動向を常に注視する人知識の定着・確認, D 知識のにより確認するよう、空欄書き返する(タイプA 知識の定着・確言	みに 必要な場合には、 ウェアラブルカー ウ取り扱いの実際 さの他 るよ 立の での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 るよ での他 でのも なる。 でのも でのも でのも でのも でのも でのも でのも でのも	伊西伊伊伊伊伊伊 西河 適 ラ 、	専波本本 付付付 ファル西 計 言	・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八 ・八八		室・河河河型講たっ合	な も	講講講実実講講講う生物 お表義義義習習習義義義。 *****************************					

大分大学シラバス様式 (20241127 版)

教科書	指定教科書(錫谷達夫、松本哲哉編「標準微生物学」第 15 版 医学書院 20	24, ISE	BN 97	8-426	60053	3440	シラ	バスに	- 沿っ	た予	習	
参考言			等 20 978-4	14, I -8901	SBN9 13-42	978-4 1-2	-621-					
成績評価の方法	評価方法	割合	目標	目標 2	目標	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標8	目標 9	目標 10
	講義の期末試験(90%)	63										
	講義内小テスト(10%)	7										
	実習内容の Web レポート(70%)	21										
	実習内容の筆記試験(期末)(30%)	9										
	講義・実習共に 60%以上の得点を合格とする。											
割合	合語	100										

注意事項	Web レポー	、は提出期限に自動的にシステムが閉じられるので締め切りを厳守すること。
備考		
リンク	URL https:/	/www.med.oita-u.ac.jp/biseibut/
担当教員の実	実務経験の有無	
教員の	実務経験	西園(感染症専門医師、渡航医学認定医)、八尋(ICD、細胞検査士、臨床検査技師),君付(獣医師)
	指導に関わる 険者の有無	
	指導に関わる 経験者	
		医師、臨末検査技師、獣医師としての実務発験を生かし、院内感染制御・海外医療事情・人獣共通感染症への対応、国内および海外 渡航のための感染症予防策(含ワクチン)など感染防御に関する実践がな演習を行う。

大分大学シラバス様式 (20241127 版) 2